

宇部・山陽小野田消防組合議会報告

平成30年の管内の災害発生状況の報告

火災79件

宇部市57件 山陽小野田市22件 平成29年比較9件増

救急10,140件

宇部市7,234件 山陽小野田市2,906件 平成29年比較201件増

救助83件

宇部市50件 山陽小野田市30件 平成29年比較18件減

平成30年7月豪雨災害では緊急消防援助隊山口県隊として、13日間、延べ34人の隊員が広島県の被災地で救急救助活動を行う。

【一般質問】

○伊場勇議員

1 消防職員の増員について

平成29年2月に組合議会からの「安心・安全なまちづくりに向けて消防職員の増員を求める決議」に関して進捗状況と今後の方向性について問う。

2 消防団との連携について

災害時、消防組合と消防団との連携強化に向けての取組状況について問う。

3 署所老朽化について

2018年～2020年までの中期実行計画では、昭和56年5月31日以前の建築された建物については、建替えによって耐震化を対応したいとあるが、具体的な方向性について問う。

【答弁】

1 決議案の議決を受けて、本消防組合の人員配置及び業務内容を再確認して、将来を見据えた消防体制に見直すため、ワーキンググループを立ち上げ検討を実施している。

今後も検討を重ねて平成30年度中には結論をだすこととしている。

2 大規模災害発生時における消防団との連携は必要不可欠であるため、中期実行計画において地域防災力の強化を主要事務事業に掲げて、宇部市、山陽小野田市それぞれの消防団と合同訓練を実施する予定である。また、宇部市・山陽小野田市消防連絡会議を開催し消防団と消防局との情報共有を図り平常時から協力体制を構築している。

3 該当する庁舎は3棟ある。活動拠点となる庁舎の耐震化は非常に重要と考えており、中期実行計画の主要事務事業として消防署所の維持管理を掲げ、消防庁舎耐震化計画を策定することとしている。庁舎の建設は構成市の事業となるので、構成市担当課と引き続き調整しながら進めていく。

○志賀光法議員

1 宇部・山陽小野田消防局におけるオープンデータ化の取組みの推進について

(1) オープンデータ化の取組状況と今後の対応

(2) 宇部市、山陽小野田市内の消火栓、防火水槽の位置情報のオープンデータ化

2 近年の多種、多様化、複雑化、大規模化している災害に適切に対応するための高性能で最新のテクノロジーを装備した車両の導入と、消防指令センターの更新と併せて、最新のテクノロジーを取り入れた消防、救急資機材の導入整備について

- (1) 救急現場と病院との映像伝送による高度な情報共有による救命率の向上対策
- (2) 消防・救急車両に全周囲完全確認カメラ装備による現場到着時間の短縮と交通事故抑止
- (3) 消防隊員のウェアラブルデバイス装着による的確な火災などの災害現場の最前線の映像情報の収集による消火活動の際の安全な指揮命令と隊員の安全確保

【答弁】

1－(1) (2) 一括答弁

ホームページで消防年報や災害件数などのデータを公開しているが、オープンデータとして開放しているものはない。今後は自助、共助を推進するためにも両構成市の取組と連携をしてオープンデータ化に取り組む。

2－(1) (2) (3) 一括答弁

最新のテクノロジーを取り入れた消防・救急資機材の導入、整備については非常に重要なことであり、積極的に導入すべきと考えている。今後、具体的に進めるために消防局内に検討チームを発足し、専門機関の助言をいただきながら、消防指令センターの更新と併せて計画的な検討をスタートする。

【議案審議】

○議案第8号 平成29年度宇部・山陽小野田消防組合一般会計歳入歳出決算認定の件

【概要】 歳入決算総額 29億3,366万7,950円
歳出決算総額 29億1,060万5,630円
剰余金 2,306万2,320円

【主な質疑と答弁】

質疑 消防学校負担金の内容は

答弁 山口県消防学校へ職員が入校する際の食事代等を含めた負担金である。

討論なし 採決結果～全員賛成で認定

○議案第9号 物品購入の件（高規格救急自動車1台）

【概要】 購入金額：3,375万円 宇部中央消防署に配備
石油貯蔵施設立地対策等補助金及び一般補助施設整備等事業債を活用して購入

○議案第10号 物品購入の件（高規格救急自動車1台）

【概要】 購入金額：3,375万円 小野田消防署に配備
寄付金を活用して購入

○議案第11号 物品購入の件（水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台）

【概要】 購入金額：4,276万8,000円 山陽消防署に配備
石油貯蔵施設立地対策等補助金を活用して購入

【主な質疑と答弁】

質疑 各議案にかかる落札率は

答弁 救急車2台は99.27% 水槽付消防ポンプ自動車は99.5%である。

討論なし 採決結果～3議案とも全員賛成で可決